

授業科目 (ナンバリング)	食品機能学 (NY402)			担当教員	出口 雄也		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	4 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>健康食品市場の急速な拡大とともに、様々な健康関連情報が溢れる昨今、薬剤師として正しい知識を提供していくことが求められている。授業では、食品成分の消化・吸収、代謝の過程を考慮しながら、健康食品や保健機能食品の特性について理解し、その効果的な活用方法を考えることを目的とする。また、近年の高齢化に伴い、在宅医療のニーズがますます増加していく中、高齢者の栄養状態、在宅での食品機能の役割についても理解を深めることも目的とする。</p> <p>【本学薬学部独自のアドバンスト科目】</p>							①②③⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 代表的な保健機能食品の特徴を説明することができる。 保健機能食品と薬との相互作用を判断することができる。 患者の病態に合わせ、保健機能食品の効果的な活用法を提供することができる。 				定期試験 レポート CAI 課題	70% 20% 10%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> 定期試験の成績を 70% とし、筆記試験を行う。定期試験では全授業内容についての知識を問うとともに、その活用法、薬との相互作用等、状況判断についても出題する。 課題はレポートとして 20%、CAI 試験として 10% とするが、詳細については講義において説明する。レポートは指定された期日に提出されたかどうか評価の対象とする。なお、レポートに関するフィードバックは、授業中に口頭で適宜行う。 							
授業の概要							
<p>特定保健用食品については、暗記で覚えた学生が多いと思うが、演習とその解説を通して身近に感じることができるように進めていく。また、栄養状態が介護度に関係することを理解し、現在の在宅医療における食品の機能性についても理解度を深めるよう進める。授業はパワーポイントを用いて行うため、ノートの用意は必要ありません。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、112.5 分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：薬学領域の食品衛生化学 [第 2 版] (廣川書店) ※衛生化学 I と同じ</p> <p>参考書：特に指定しない</p> <p>指定図書：薬剤師がすすめるビタミン・ミネラルのとり方 (丸善)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>これまで学修した衛生化学 I、栄養学、生化学 I・IIなどを復習して授業に臨んでほしい。国家試験においても実践問題等で出題される範囲であるため、授業を通して特定保健用食品に対する苦手意識を克服してほしい。また、健康情報に惑わされることなく正しい食生活ができること、また指導できることを期待している。</p> <p>質問は基本的に在室中であれば可能ですので、薬学研究棟 3 階 P308 を訪ねてください。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標番号*
1	はじめに	講義概要、健康食品市場、情報を正しく理解するには	健康食品市場について調べて授業に臨むこと	
2	食品表示法	食品情報、強調表示	授業で指示された課題レポートを作成し、提出すること	522
3	保健機能食品制度	経緯と現状	教科書 p98～105	521
4	特定保健用食品 (薬との相互作用含む)	血糖値が気になり始めた方の食品	糖の吸収について復習し授業に臨むこと	508/509/521/745
5		おなかの調子を整える食品	食物繊維の種類について復習し授業に臨むこと	511/521/745
6		コレステロールが高めの方の食品	コレステロールの生合成について復習し授業に臨むこと	508/509/521/745
7		血中中性脂肪、体脂肪が気になる方の食品	脂質の吸収について復習し授業に臨むこと	508/509/521/745
8		血圧が高めの方の食品	血圧上昇のメカニズムについて復習し授業に臨むこと	511/521/745
9		ミネラルの吸収を助ける食品	ミネラルについて復習し授業に臨むこと	508/509/521/745
10	栄養機能食品 (薬との相互作用含む)	ビタミン・ミネラルの機能	教科書 p38, 63, 106	508/521/745
11	機能性表示食品①	メディアルームにて課題作成	3 回目の授業内容を復習し授業に臨むこと	521
12	セルフメディケーション	主な一般用医薬品の列挙	授業プリントの復習	13/521/744/745
13	機能性表示食品②	求められること、まとめ	授業プリントの復習	521
14	高齢者への栄養支援	在宅における食品機能、食の問題	高齢化の現状を調べ授業に臨むこと	510
15	特別用途食品	嚥下困難者用食品	教科書 p98～101	521
16	定期試験			

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。